学 科		鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期	月別	通年	——科目の実利	 务経歴	有	
授業科目名	1	東洋医学臨床論Ⅱ				自教員 餌取 光輝					
授業の方法		講義、演習				位数	2単位	時間数 60時間			
学修内容		臨床で遭遇すると思われる主症候に対して、東洋医学的な考え方に基づいて適切な診察・施術ができるための知識を学ぶ。									
授業の 到達目標	4.	Ⅱ. 医学的知識 4. 東洋医学の自然哲学・健康観・病理観 5. 東洋療法における主要疾患の症候・治療の概要(現代医学的・東洋医学的)									
授業計画		前 期			後 期						
	回	テーマ			回			テーマ			
	1	1 ガイダンス			1	第2章各論 疼痛 腹痛(上腹部痛)					
	2	人体の見方 東洋医学的な考え方	(陰陽学説	五行学説 六淫など)	2	第2章各論 疼痛 腹痛(下腹部痛)					
	3	東洋医学的治療 臓腑病証(肝	Ŧ系統·心	心系統)	3	第2章各論 疼痛 関節痛(膝痛)					
	4	東洋医学的治療 臓腑病証(脚	卑系統・肺	市系統)	4	第2章各論 肝系統 眼精疲労					
	5	東洋医学的治療 臓腑病証(腎	肾系統)		5	第2章	各論 心系統 睡眠障害				
	6	6 配穴方法、難経六九難			6	第2章各論 肺系統 咳嗽と喀痰					
	7	7 中間試験/総合演習			7	中間試験/総合演習					
	8	8 第1章総論 穴の特性			8	第2章各論 腎系統 脱毛症					
	9	9 第2章各論 疼痛 東洋医学に基づく疼痛、頭痛			9	第2章各論 女性特有の疾患					
	10	10 第2章各論 疼痛 顔面痛			10	第2章各論 全身の症候 発熱と疲労					
	11	11 第2章各論 その他の症候 顔面神経麻痺			11	第2章各論 小児特有の症候					
	12	12 第2章各論 疼痛 関節痛(痺証)			12	第2章各論 老年特有の症候					
	13	3 第2章各論 脾系統 下痢			13	第2章各論 腎系統 陽萎					
	14	14 第2章各論 脾系統 便秘			14	第2章各論 その他の症候					
	15	15 前期総括授業			15	後期総括授業					
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F·不可)										
評価方法	後期	前期:中間試験(50%)、期末試験(50%) 後期:中間試験(50%)、期末試験(50%) ※通年科目の為、前期(50%)後期(50%)で評価を行う。			実	実務経験 実務経験 対員歴4年 鍼灸師、柔道整復師、JSTAスポーツアロマト レーナー			マト		
履修上の 注意		東洋医学概論の教科書をしっかりと読み込んでください。また 東洋医学臨床論の教科書で復習をすること。				授業時間外 臓腑の生理作用、病理を覚え弁証論治をまと の学習 めること			きまと		
使用教材	東洋 東洋	授業内配布資料 東洋療法学校協会編 新版「東洋医学臨床論」(はりきゅう編) 東洋療法学校協会編「経絡経穴概論」 東洋療法学校協会編「東洋医学概論」				絡先	質問や相談接訪ねてく		があるときは事務課を通して直 さい。		